

バインダージェッティングによるアルミニウム部品 製造に向けた液相焼結過程の解析

大谷, 直生

<https://hdl.handle.net/2324/7363781>

出版情報 : Kyushu University, 2024, 博士 (工学), 課程博士
バージョン :
権利関係 :



氏 名	大谷 直生			
論 文 名	バインダージェットティングによるアルミニウム部品製造に向けた液相焼結過程の解析			
論文調査委員	主 査	九州大学	教授	品川 一成
	副 査	九州大学	教授	黒河 周平
	副 査	九州大学	教授	宮原 広郁

論 文 審 査 の 結 果 の 要 旨

本論文は、BJT による Al 部品製造における品質課題に対して、多面的に解析手法を実証すると共に、品質改善指針を提示したものである。材料処方や造形・焼結条件の差異は、最終部品の品質に直結するため、大規模な実験を伴うことなく原因を特定し、品質改善を可能とする手法の提案は、工学的に価値のあることである。したがって、本論文は機械工学上寄与するところが大きく、博士（工学）の学位論文に値すると認める。